

学習評価の進め方ワークシート（外国語）

【「学習評価の進め方ワークシート」の使い方】

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点が増え、3 観点に整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように児童を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（以下「参考資料」）等を基に、以下のワークシートの手順に従い、一単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyuu.html>)国立教育政策研究所

小学校外国語

新学習指導要領における学習評価の在り方

1 単元における学習評価の進め方

単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

1	単元の目標を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ① ①については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。
2	単元の評価規準を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ② ②については、①を踏まえ、評価場面や評価方法を計画する。 ③ ③については、どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。
3	「指導と評価の計画」を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ④ ④に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。
4	観点ごとに総括する	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ ⑤については集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的评价(A・B・C)を行う。

2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法

【小学校学習指導要領 外国語科 目標】「学びに向かう力、人間性等」

1 目標

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【小学校学習指導要領 英語 目標】「学びに向かう力、人間性等」

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、

Point!

外国語科は、目標が「外国語科」と「英語」に分けて示されています。「英語」の目標に示されている、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「外国語科」の目標に示す資質・能力を育成することとされています。

()年 単元名 ()



1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領を基に、各単元で取り扱う事柄や、言語材料、単元を中心となる言語活動のコミュニケーションを行う目等に即して設定する。

2 単元の評価規準を作成する

「内容のまとまりごとの(五つの領域)評価規準(例)」(参考資料 P33、39～)等を基に、各単元で取り扱う事柄や、言語材料、単元を中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、取り扱う話題などに即して作成する。

<単元の評価規準>



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

3 「指導と評価の計画」を作成する

評価規準の内容を最も評価できる場面で、適切な評価方法を考えましょう。また、枠が足りないときは、同様の形式を作成して、なるべく詳しい計画を立ててみましょう。



時	目標◆・活動○【】	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準〈評価方法〉

授業を行う



児童への学習状況のフィードバックや授業改善に生かす機能を一層充実させることが大切です。

4 観点ごとに総括する

評価の観点ごとの総括及び評定への総括の考え方や方法について、教師間で共通理解を図り、児童や保護者に説明し理解を得ましょう。



(例 1) 評価結果の A、B、C を数値に置き換えて総括する場合

A	B	C
3点	2点	1点

総括の結果を B とする範囲を $[2.5 \geq \text{平均値} \geq 1.5]$ とする。

学習活動	1	2	3	4	5	6	総括	単元の評価
知識・技能								
思考・判断・表現								
主体的に学習に取り組む態度								

(例 2) 評価の結果の A、B、C の数を基に総括する場合

「A、B」のように数が同数の場合や「A、B、C」のように混在する場合は、あらかじめ総括の仕方を決めておくことが必要です。

学習活動	1	2	3	4	5	6	単元の評価
知識・技能							
思考・判断・表現							
主体的に学習に取り組む態度							